

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 2 月 27 日 (17 : 30～18 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 令和 7 年度勤務職員 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	6 人	1 人	1 人	9 人

前回の改善計画
 利用開始からの 1 カ月は、家族 (介護者) へのかかわりを意識して取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果
 送迎時や電話、連絡帳でのやり取りにて、ご家族との情報交換を頻回に行い、職員間での情報共有に取り組んだことで、ご利用者のケア方法の確立や介護者の困りごとへの支援につなげる事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	3	2	0	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	6	2	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか?	3	4	2	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	5	3	0	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 利用開始前の利用者情報を各自がしっかり確認している。
 利用開始のタイミングにより、ミーティングが可能な場合には実施している。
 送迎時や来所のタイミングでご家族 (介護者) に会う機会があれば、積極的にコミュニケーションを図り、関係性づくりに努めている。
 サービス利用開始からの自宅での様子や変化等をご家族 (介護者) に確認し、必要な支援が出来ているか確認、調整する事が出来ている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 月途中から利用が開始になった場合は事前ミーティングが行えず、紙面の情報確認のみになってしまう。
 開始から 1 カ月は短いスパンでモニタリングを行い、職員全員で支援内容の確認等が望ましいが、時間が取れず行えていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 利用開始 1 カ月のタイミングで支援内容の確認や見直しのためのミーティングを実施する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 2 月 27 日 (17 : 30 ~ 18 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	2 人	4 人	3 人	9 人

前回の改善計画
定期的 (モニタリングのタイミングで) 暮らしの目標を本人に確認することに挑戦する。

前回の改善計画に対する取組み結果
モニタリングの際には目標の評価を行い、支援内容の見直しの検討を介護者と共に行うが、本人の意向確認が出来るケースが少なく、少数のみの取り組みとなった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	3	4	2	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	3	4	2	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	3	4	1	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	1	5	1	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
評価の際にはケアに関わった職員の意見交換ができ、次の対応に活かせることが出来ている。意向確認できる利用者の生活の目標を聞き出し、支援内容に反映している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者の当面の目標「～したい」を理解した上での関わりが出来ていない職員が多い。具体的な目標が確認できないケース、本人の意向確認が困難なレベルの利用者が多く、ご家族 (介護者) も本人のゴールを認識していない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
利用者の生活の目標を 1 つでも確認し、それを意識してケアに取り組む。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 2 月 27 日 (17:30～ 18 :30)

3. 日常生活の支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	5 人	3 人	0 人	9 人

前回の改善計画	生活歴や経過を把握できるような関わりを実践して、日常生活の支援につなげる。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者やご家族とのコミュニケーションの中で、生活歴や経過を把握できるような会話を意識した。収集した情報を共有しながらケアに取り組んだ。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	4	2	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	6	0	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	8	0	0	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	5	0	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	9	0	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 長く関わっている利用者でも、新しい情報が収集できた場合はその都度職員間で共有する事が出来ている。利用者本人の気持ちや訴えを予測したり、体調の変化を把握して、必要な支援を行えている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 過去の生活を把握する事で支援にどのように反映されるのかがわからないので、現在の状況は把握するが、以前の暮らし方や経過をそこまで把握しようと意識していなかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 健康であった頃の生活環境と、介護が必要になった現在の生活環境を比較して経過を理解することで、利用者本人の気持ちに寄り添ったケアを実践する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 2 月 27 日 (17 : 30 ~ 18 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	2 人	3 人	4 人	9 人

前回の改善計画
自身の住む地域の民生委員を把握する。「民生委員」について勉強する。

前回の改善計画に対する取組み結果
事業所の地区の民生委員の田村様にご協力をいただき、民生委員の役割や活動についての勉強会を事業所内で実施した。民生委員に関する資料を集めて各自勉強できる体制を作った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	5	0	3	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	5	2	2	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	3	3	3	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	3	4	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
自分の住んでいる地域の民生委員を把握し、役割を勉強する事が出来た。
利用者の生活スタイルや人間関係についての情報収集、自宅環境や様子を観察しながら対応している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
勉強会には参加したが、民生委員の役割や活動内容を把握するところまでは至っていない。
利用者本人と地域との関係性を把握するための情報がなかなか得られない。
民生委員や地域住民との関わりが積極的に行えていない。必要最小限にとどまる。個人情報保護の観点から難しい。家族・介護者との関係性に介入する事が難しい。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
利用者本人と家族、地域との関係性を考察し、ケアに役立てる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和8年 2月 27日 (17:30 ~18:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	0人	1人	7人	9人

前回の改善計画	事業所周辺で支援に活用できる地域資源を新たに探し活用してみる。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の中で活用できそうな資源を探してみた職員が少なかった。活用するための計画を立てる事が出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	1	2	5	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	3	0	1	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	4	0	2	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	6	2	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 地域の店舗を利用した買い物支援や外出支援が出来ている。(一部利用者のみ) 本人、家族のニーズや要望に応じたサービス提供が行え、変化に応じて柔軟な調整も行えている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 新たな資源を見つけても、実際活用に至っていない。計画、実行する時間が取れなかった。 必要性を感じておらず、意識した取り組みが出来なかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) まだ利用していない地域資源を活用し、計画を立てて外出支援を実践する。(かみーる、プラザ八王子等)
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 2 月 27 日 (17 : 30 ~18 : 30)

6. 連携・協働

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	1 人	1 人	7 人	9 人

前回の改善計画	会議や地域の活動への参加人数を増やす。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域活動時の参加の呼びかけ、担当者会議への参加の調整。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	0	2	0	7	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	2	0	7	9
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	1	0	8	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	1	8	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>地域の清掃活動に新たに職員が参加する事が出来た。 外部機関との会議にはケアマネージャーが参加している。 運営推進会議には介護職員が順番に参加して、意見交換や情報収集の場を体験する事が出来ている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>担当者会議やその他の会議に職員が参加できるよう日程調整を試みるが、現場の人員不足にて参加できる回数が少ない。一定の職員しか参加できなかった。 自治会等の活動が把握できておらず、積極的な関わりの機会がない。 地域住民が気軽に立ち寄れるオープンな場所となっていない。 事業所単位でのイベントや外出は実施するが、地域でのイベントに利用者と一緒に参加できていない。(人員不足やイベントの内容により参加が難しい)</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>事業所代表として会議や活動に参加する。参加できるように勤務や時間を調整する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 2 月 27 日 (17:30 ~ 18:30)

7. 運営

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	6 人	1 人	1 人	9 人

前回の改善計画	スタッフ一人一人が事業所の運営に関わっていることを自覚し、登録者数や利用状況を説明できるように把握する。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎月の職員会議の中で登録者数や利用状況を職員全員が把握するための報告を行った。職員が各自でいつでも把握できるように、利用予定表を常時準備している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	5	3	1	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	8	0	0	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	5	0	4	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	0	1	8	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
苦情件数は 0 件であるが、苦情を受けた際は即座に対応できるように職員一人ひとりが窓口となる。登録者数や毎日の利用者数を把握できている。利用者やご家族からいただいた意見を運営に反映させている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域と連動した活動内容や取り組みがわからない。地域に対して事業所のアピールが出来ていない。一部の職員のみ、事業所の情報発信の対応を行っているが、ほとんどの職員は無関心であり携わっていない状況。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
事業所を知ってもらうことを意識した情報発信を職員各自が行う。それに対する利用者やご家族、外部からの意見を聞き取り、よりよい運営のために活用していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 2 月 27 日 (17:30 ~18:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	8人	1人	0人	9人

前回の改善計画	多数の中で自信を持って発言できるようになる為に、今後も自身のスキルアップ向上に取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	月1回の社内研修の実施、社外研修の参加への促し、研修参加者からの内容報告による情報共有にて、事業所全体のスキルアップ向上に取り組んだ。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	3	1	0	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	4	1	0	9
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	0	7	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	3	1	4	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ほとんどの職員が、月1回の社内研修に参加できている。 資格や業務担当に応じて必要な外部研修に参加する事が出来ている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 興味のある内容の研修や、それぞれのレベルに応じた研修が見つからない。 参加したい研修があっても、シフトの関係で参加できなかった。 ヒヤリ・ハットや事故等の事例検討を重ね、リスクマネジメントに取り組んでいるが、日常的に意識して業務を行う職員が少ない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ミスや事故の件数を減らすためのリスクマネジメントに意識して取り組む。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 2 月 27 日 (17 : 30 ~ 18 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	2人	0人	9人

前回の改善計画	介助や情報交換の際のプライバシー保護への配慮を意識する。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎月の職員会での確認、日常的に職員間で注意しあう等、介助時のプライバシー保護、事業所内での会話の際の個人情報について意識を高める取り組みを行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	1	0	0	9
②	虐待は行われていない	8	1	0	0	9
③	プライバシーが守られている	4	5	0	0	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	1	1	7	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	4	0	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 個人情報の入った書類の管理や、IC 機器を使った情報管理での漏洩を予防できている。 事業所での身体拘束、虐待の件数は 0 件であり、在宅での状況把握にも努めている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 成年後見制度を現在利用している利用者はいない。対応が必要な場合にはケアマネージャーが行うため、介護職員が成年後見制度の必要性を検討する機会がなく「できていない」の回答が多い。 成年後見制度への知識が不足しているので、再度勉強会を実施する必要がある。 職員間の何気ない会話の中に利用者の個人情報が含まれることがある。又、他利用者の前で報告や連絡をしてしまう事があり、プライバシー保護への認識不足がある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 職員間での会話の中で利用者の守られるべき個人情報が他者に聞かれないようにする。TPO を意識した業務対応にて「尊厳あるケア」を徹底する。
---------------	---